

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	社会福祉課(社会援護担当)	事業区分	■実施計画 ■重点プロジェクト
事務事業名	地域福祉補助事業	事業番号	10078

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-8	地域福祉の充実
	施策目標	地域で互いに助け合い支え合うまち	

2 事務事業の目的

目 的	根室市地域福祉基金を運用し、民間団体が行う福祉活動を支援し、在宅福祉の向上や健康・生きがいのづくりの推進、その他地域福祉の増進を図る。
成 果	高齢者等の保健福祉の推進を図る。
実施方法	☐ 直営(市が直接実施) ☒ 補助(民間等に補助) ☐ 委託(民間等に委託) ☐ その他
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年 度		概 要					
	27		5団体5事業に対し補助。					
	28		3団体3事業に対し補助予定。					
	29		4団体4事業に対し補助予定。					
	30		5団体5事業に対し補助予定。					
	31		6団体6事業に対し補助予定。					
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		878	1,000	1,000	1,000	1,000	4,878
	内 訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	878	1,000	1,000	1,000	1,000	4,878
		一般財源						
	人員(人工)		0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0
	職員費(人員×8,081千円)		242	242	242	242	242	1,210
	総事業費		1,120	1,242	1,242	1,242	1,242	6,088
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計／年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	補助団体数	5団体	7団体	9団体
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	福祉ボランティアの活発化。
-------------------	---------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	☒ かなりのニーズがある ☐ ニーズはある ☐ ニーズはあまりない 高齢化に伴い、福祉を必要とする対象者は増加傾向にある。
イ. 市が実施する必要性	☒ 市が実施すべきである ☐ 市の実施について検討の余地あり ☐ 市以外で実施可能である 市以外では、実施不可能と考える。
ウ. 事業の緊急性	☒ 緊急性が高い ☐ 緊急性はある ☐ 緊急性はない 急速に進む高齢化に対処する。
エ. 手段の適切性	☐ 適切である ☐ 現状として妥当である ☒ 検討の可能性はある 事業費の増額が必要。
オ. 事業の公平性	☐ 公平性は高い ☒ 概ね公平である ☐ 改善の余地はある 市民に広く周知している。
カ. 事業の有効性	☒ 本事業の有効性が高い ☐ 本事業の有効性がある ☐ 既存事業と大きな差はない 地域における繋がり希薄化が進む中、ボランティア団体をとおした連携が期待される。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 重点プロジェクト事業につき、速やかに事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	☒ 計画どおり着手が適当 ☐ 再検討し実施する ☐ 着手を延期する

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	社会福祉課(社会援護担当)	事業区分	■実施計画 □重点プロジェクト
事務事業名	ボランティア愛ランド北海道補助事業	事業番号	12560

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-8	地域福祉の充実
	施策目標	地域で互いに助け合い支え合うまち	

2 事務事業の目的

目 的	全道のボランティア実践者やボランティアに関心を寄せる人々が一堂に集い、ボランティア活動における課題等について研究協議を行なうとともに、仲間づくりやネットワークの強化、交流などを通してボランティア活動の推進を図る。
成 果	様々なボランティア活動を行う仲間達と親睦を深めることができる。
実施方法	■直営(市が直接実施) □補助(民間等に補助) □委託(民間等に委託) □その他
事務区分	■自治事務 □法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年 度		概 要					
	27		全道で活動するボランティア団体が一同に集結し、落語家を招いて「笑いの大切さ」の講話や「出会い、集い、明日へそして未来へ それぞれのおもいをつなげよう」をテーマにシンポジウムを開催する。					
	28							
	29							
	30							
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		200					200
	内 訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	200					200
	人員(人工)		0.03					
	職員費(人員×8,081千円)		242					242
	総事業費		442					442
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計／年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	ボランティア愛ランド北海道2015inねむろ参加者数	650人	(未実施)	(未実施)
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	ボランティアの活発化。
--------------------------	-------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	■かなりのニーズがある □ニーズはある □ニーズはあまりない 高齢化に伴い、ボランティアを必要とする市民は増加傾向にある。
イ. 市が実施する必要性	□市が実施すべきである □市の実施について検討の余地あり ■市以外で実施可能である 本事業は北海道社会福祉協議会が主催である。
ウ. 事業の緊急性	■緊急性が高い □緊急性はある ■緊急性はない ボランティアを活発化させ、急速に進む高齢化に対処する。
エ. 手段の適切性	□適切である ■現状として妥当である □検討の可能性はある 北海道の各地で場所を変えて開催することは、道民のボランティアに対する意識向上等を図る観点から、現状として妥当である。
オ. 事業の公平性	□公平性は高い □概ね公平である ■改善の余地はある 本大会の参加者は北海道のボランティア団体を対象としているが、ボランティアに関心を寄せる根室市民も参加対象とすべきである。
カ. 事業の有効性	□本事業の有効性が高い ■事業の有効性がある □既存事業と大きな差はない 全道のボランティア団体と連携した活動が期待される。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 事業終了につき特記事項なし。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	■計画どおり着手が適当 □再検討し実施する □着手を延期する 将来、根室市及び管内での開催の打診があった際は、協力したい。

作成年度 平成27年度